



**Hewlett Packard**  
Enterprise

# **HPE Edgeline Systems の HPE ProLiant m510 および m710x サーバークャートリッジ用 UEFI 設定クイックリファレンスガイド**

部品番号: 875734-191  
発行: 2017 年 1 月  
版数: 1

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューター・ソフトウェア、コンピューター・ソフトウェア資料、および商業用製品の技術情報は、ベンダー標準の商業用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

## 商標

Intel<sup>®</sup>、インテル、Itanium<sup>®</sup>、Pentium<sup>®</sup>、Intel Inside<sup>®</sup>、および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft<sup>®</sup>および Windows<sup>®</sup>は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

UEFI<sup>®</sup>は UEFI Forum, Inc.の登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

# UEFI システムユーティリティのオプションと設定

次の表に、UEFI システムユーティリティで使用可能な各オプションをアルファベット順に記載します。また、システムユーティリティのメイン画面からオプションへのメニューパス、オプションの使用方法についての簡潔な説明、および使用可能な設定（該当する場合）についても記載します。

❗ **重要:**

UEFI システム構成オプションは、ご使用のシステムにインストールされているプラットフォームおよび独自のコンポーネントによって異なります。したがって、ここに記載されているオプションの中には、ご使用のシステムでは表示されないものがある可能性があります。各オプションについて詳しくは、UEFI システムユーティリティユーザーガイドを参照してください。

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
ACPI SLIT 優先	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > ACPI SLIT 優先	Advanced Configuration and Power Interface System Locality Information Table (ACPI SLIT) を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
Active Health System ログ (AHS)	内蔵アプリケーション > Active Health System ログ	AHS ログをダウンロードします。	直近 7 日間のログをダウンロードします。
iSCSI ブート試行を追加	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > iSCSI ブート構成 > iSCSI ブート試行を追加	iSCSI ブートターゲットを構成します。	N/A
ブートオプションの追加	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > アドバンスド UEFI ブートメンテナンス > ブートオプションの追加	UEFI ブート順序リストに x64 UEFI アプリケーションを追加します。	N/A
内蔵 UEFI シェルをブート順序に追加	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵 UEFI シェル > 内蔵 UEFI シェルをブート順序に追加	次の再起動時に、内蔵 UEFI シェルを UEFI ブート順序リストのエントリーとして追加します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
隣接セクターのプリフェッチャー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > アドバンスドパフォーマンスチューニングオプション > 隣接セクターのプリフェッチャー	隣接セクターのプリフェッチ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
管理者情報	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバー資産情報 > 管理者情報	サーバー管理者の連絡先情報を指定します。	N/A
アドバンスドメモリプロテクション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > メモリ操作 > アドバンスドメモリプロテクション	ECC (エラー検出および訂正) を使用して高度なメモリ保護を構成できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバンスド ECC サポート</li> <li>アドバンスド ECC サポート付きオンラインスベア</li> <li>アドバンスド ECC サポート付きミラーメモリ</li> </ul>
ASR ステータス	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバー可用性 > ASR ステータス	自動サーバー復旧 (ASR) を有効または無効にします。ASR は、サーバーがロックアップした場合にサーバーを自動的に再起動します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
ASR タイムアウト	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバー可用性 > ASR タイムアウト	ASR ステータスが有効になっている場合は、オペレーティングシステムのクラッシュ時またはサーバーのロックアップ時にサーバーを再起動するまでの待ち時間を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 分</li> <li>10 分</li> <li>15 分</li> <li>20 分</li> <li>30 分</li> </ul>
自動電源オン	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバー可用性 > 自動電源オン	AC 電源がシステムに接続されたときにサーバーの電源を自動的にオンにする方法を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>常に電源をオン</li> <li>常に電源をオフ</li> <li>最後の電源状態を復元</li> </ul>
BIOS シリアルコンソールエミュレーションモード	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > BIOS シリアルコンソールと EMS > BIOS シリアルコンソールエミュレーションモード	シリアルコンソールのエミュレーションモードタイプを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>VT100</li> <li>ANSI</li> <li>VT100+</li> </ul>
ブート順序ポリシー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > ブート順序ポリシー	UEFI ブート順序リストに従ってデバイスのブートを試みたときにブート可能なデバイスが見つからない場合に、システムの動作を制御します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブート順序を無限に再試行</li> <li>ブート順序を 1 回試行</li> <li>ブート試行の失敗後リセット</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
チャンネルインターリーブ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > アドバンスト電力オプション > チャンネルインターリーブ	電力プロファイルをカスタムに設定している場合、高レベルのメモリインターリーブを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
協調電力制御	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > アドバンスト電力オプション > 協調電力制御	電力プロファイルがカスタムに設定されている場合、プロセッサクロッキングコントロール (PCC) インターフェイスをサポートしているオペレーティングシステムに対する協調電力制御を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
一貫性のあるデバイスの名前付け	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンストオプション > アドバンストシステム ROM オプション > 一貫性のあるデバイスの名前付け	デバイスの名前付けのレベルを指定します。これにより、システム内の NIC ポートの位置に基づく NIC ポートの名前付けを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>LOM のみの一貫性のあるデバイスの名前付け</li> <li>無効</li> </ul>
カスタム POST メッセージ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバー資産情報 > カスタム POST メッセージ	サーバーの POST 処理中に ProLiant POST 画面に表示するカスタムメッセージを指定します。	N/A
日付と時刻	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 日付と時刻	システムによって表示される日時を指定します。	N/A
DCU IP プリフェッチャー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > アドバンストパフォーマンスチューニングオプション > DCU IP プリフェッチャー	DCU IP のプリフェッチ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
DCU ストリームプリフェッチャー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > アドバンストパフォーマンスチューニングオプション > DCU ストリームプリフェッチャー	DCU ストリームのプリフェッチ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
デフォルトのUEFI デバイス優先順位	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムデフォルトオプション > デフォルトのUEFI デバイス優先順位	デフォルトのシステム設定が復元されるときに使用されるUEFI デバイスの優先順位を変更します。	N/A
すべてのキーを削除 (PK、KEK、DB、DBX)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > アドバンスドセキュアブートオプション > すべてのキーを削除 (PK、KEK、DB、DBX)	プラットフォームキーを含む、システム内のすべてのキーを削除します。	N/A
ブートオプションの削除	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > アドバンスドUEFI ブートメンテナンス > ブートオプションの削除	UEFI ブート順序リストから x64 UEFI アプリケーションを削除します。	N/A
iSCSI ブート試行を削除	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > iSCSI ブート構成 > iSCSI ブート試行を削除	1つ以上のiSCSI ブートターゲットを削除します。	N/A
KEK エントリーを削除	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > アドバンスドセキュアブートオプション > プラットフォームキー (PK) オプション > KEK エントリーを削除	キー交換キーを削除します。	N/A
プラットフォームキー (PK) を削除	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > アドバンスドセキュアブートオプション > プラットフォームキー (PK) オプション > プラットフォームキー (PK) を削除	プラットフォームキーの証明書を削除します。	N/A
署名を削除 (許可済み DB)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > アドバンスドセキュアブートオプション > 許可済み署名データベース (DB) オプション > 署名を削除	許可済み署名データベースから署名を削除します。	N/A
署名を削除 (禁止された DB)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > アドバンスドセキュアブートオプション > 禁止された署名データベース (DBX) オプション > 署名	禁止された署名データベースから署名を削除します。	N/A
動的消費電力上限機能	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > ブート時間最適化 > 動的消費電力上限機能	ブートプロセス中にシステムROMがいつ電力較正を実行するかを構成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動</li> <li>• 有効</li> <li>• 無効</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
ダイナミックパワーセービングモードレスポンス	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > アドバンスド電力オプション > ダイナミックパワーセービングモードレスポンス	電力プロファイルがカスタムに設定されている場合、プロセッサのワークロードに合わせてプロセッサのパフォーマンスと電源の状態をシステム ROM で制御できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高速</li> <li>• 低速</li> </ul>
内蔵 Diagnostics (起動の有効/無効)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > 内蔵 Diagnostics	システムユーティリティメインメニューからの内蔵 Diagnostics の起動を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 有効</li> <li>• 無効</li> </ul>
内蔵 Diagnostics (起動)	内蔵アプリケーション > 内蔵 Diagnostics	ProLiant ハードウェア診断メニューを起動します。	N/A
内蔵 SATA 構成	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > SATA コントローラーオプション > 内蔵 SATA 構成	内蔵チップセット SATA (Serial Advanced Technology Attachment) コントローラーサポートを有効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SATA AHCI サポートを有効</li> </ul>
内蔵ストレージブートポリシー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ストレージオプション > 内蔵ストレージブートポリシー	内蔵ストレージコントローラーに UEFI BIOS ブートターゲットを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すべてのターゲットを起動</li> <li>• 3つのターゲットに起動を制限</li> <li>• ターゲットで起動なし</li> </ul>
内蔵 UEFI シェル (有効化/無効化)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵 UEFI シェル > 内蔵 UEFI シェル	内蔵 UEFI シェルを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 有効</li> <li>• 無効</li> </ul>
内蔵 UEFI シェル (起動)	内蔵アプリケーション > 内蔵 UEFI シェル	内蔵 UEFI シェルを起動します。	N/A
内蔵ビデオ接続	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > 内蔵ビデオ接続	内蔵ビデオコントローラーに外部ビデオ接続を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動</li> <li>• 常に無効</li> <li>• 常に有効</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
EMS コンソール	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > BIOS シリアルコンソールと EMS > EMS コンソール	Windows Server 緊急管理サービス (EMS) コンソールにリダイレクトするシリアルポート設定を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>無効</li> <li>COM1</li> <li>COM2</li> </ul>
エネルギー/パフォーマンスバイアス	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > アドバンスド電力オプション > エネルギー/パフォーマンスバイアス	電力プロファイルをカスタムに設定している場合、複数のプロセッササブシステムを構成して、プロセッサのパフォーマンスと電力使用を最適化します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大パフォーマンス</li> <li>パフォーマンスの最適化</li> <li>電力の最適化</li> <li>省電力モード</li> </ul>
KEK エントリーを登録	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > アドバンスドセキュアブートオプション > キー交換キー (KEK) オプション > KEK エントリーを登録	キー交換キーの証明書を登録します。	N/A
PK を登録	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > アドバンスドセキュアブートオプション > プラットフォームキー (PK) オプション > PK を登録	プラットフォームキーの証明書を登録します。	N/A
署名を登録 (許可済み DB)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > アドバンスドセキュアブートオプション > 許可済み署名データベース (DB) オプション > 署名を登録	許可済み署名データベースに署名を登録します。	N/A
署名を登録 (禁止された DB)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > アドバンスドセキュアブートオプション > 禁止された署名データベース (DBX) オプション > 署名を登録	禁止された署名データベースに署名を登録します。	N/A
システムを終了して再起動	システムユーティリティのメイン画面	システムユーティリティを終了して、ブートプロセスを再開します。	N/A
拡張メモリテスト	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > ブート時間最適化 > 拡張メモリテスト	メモリの初期化プロセス時にシステムが拡張メモリテストを実行するかどうかを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>

表は続く



オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
ファイバーチャネル/FCoE スキャンポリシー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ストレージオプション > ファイバチャネル/FCoE スキャンポリシー	有効な FC/FCoE (または、SAN からのブート) ブートターゲットのスキャンのためのデフォルトのポリシーを変更しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのターゲットをスキャン</li> <li>構成済みターゲットのみスキャン</li> </ul>
GPU Aperture size	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンストオプション > GPU Aperture size	インテル GPU (Graphics Processing Unit) アパーチャサイズを構成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>256MB</li> <li>512MB</li> <li>1024 MB</li> </ul>
HWプリフェッチャー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > アドバンストパフォーマンスチューニングオプション > HWプリフェッチャー	インテルプロセッサを搭載するサーバーでのプロセッサプリフェッチ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
インテグレートッドマネジメントログ (IML)	内蔵アプリケーション > インテグレートッドマネジメントログ	IML を表示または消去します。	N/A
インテル DMI リンク周波数	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > アドバンスト電力オプション > インテル DMI リンク周波数	プロセッサとサウスブリッジ間のリンク速度を遅い速度になるように設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動</li> <li>最小 QPI 速度</li> </ul>
インテル NIC DMA チャンネル (IOAT)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > アドバンストパフォーマンスチューニングオプション > インテル NIC DMA チャンネル (IOAT)	インテル NIC 上での DMA アクセラレーションを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
インテル(R)ハイパースレッディングオプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > プロセッサオプション > インテル(R)ハイパースレッディングオプション	インテルハイパースレッディングテクノロジーをサポートするプロセッサ上の論理プロセッサコアを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
インテル(R)ターボブーストテクノロジー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > インテル(R)ターボブーストテクノロジー	プロセッサが使用できる電力に余裕があり、温度が仕様内である場合に、定格よりも高い周波数にプロセッサを移行するかどうかを制御するインテルターボブーストテクノロジーを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
Intel (R) TXT Support	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Intel (R) TXT Support	インテルプロセッサを搭載するサーバーでの Intel TXT (Trusted Execution Technology) のサポートを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
Intel (R) VT-d	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > 仮想化オプション > Intel (R) VT-d	Virtual Machine Manager (VMM) でダイレクト I/O (VT-d) 対応のインテル仮想化テクノロジーを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
I/O 非ポストプリフェッチ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > アドバンスドパフォーマンスチューニングオプション > I/O 非ポストプリフェッチ	I/O 非ポストプリフェッチ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
IPv6 DHCP ユニーク識別子	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > ネットワークブートオプション > IPv6 DHCP ユニーク識別子	IPv6 DHCP ユニーク識別子 (DUID) の設定方法を制御します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動</li> <li>DUID-LLT</li> </ul>
iSCSI 試行	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > iSCSI ブート構成 > iSCSI 試行	iSCSI ブート試行の詳細を表示します。	N/A
最大メモリバス周波数	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > アドバンスド電力オプション > 最大メモリバス周波数	電力プロファイルがカスタムに設定されている場合、取り付けられているプロセッサ/DIMM の構成でサポートされているよりも低い最高速度でメモリが動作するように構成できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動</li> <li>1333M Hz</li> <li>1066M Hz</li> <li>800M Hz</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
最大 PCI Express 速度	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > アドバンスド電力オプション > 最大 PCI Express 速度	電力プロファイルがカスタムに設定されている場合、PCI Express デバイスがサーバーで稼働できる最大 PCI Express 速度を下げます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大サポート</li> <li>PCIe Generation 1.0</li> </ul>
メモリアーストトレーニング	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > ブート時間最適化 > メモリアーストトレーニング	サーバーの再起動時のメモリートレーニングを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
I/O のメモリ近接関係レポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > アドバンスドパフォーマンスチューニングオプション > I/O のメモリ近接関係レポート	I/O デバイスと、オペレーティングシステムのシステムメモリとの間の近接関係をシステム ROM がレポートするかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
最小プロセッサアイドル電力コア C ステート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > 最小プロセッサアイドル電力コア C ステート	電源プロファイルがカスタムに設定されている場合、オペレーティングシステムが使用する、プロセッサの最小アイドル電力 (C ステート) を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>C6 ステート</li> <li>C3 ステート</li> <li>C1E ステート</li> <li>C ステートなし</li> </ul>
最小プロセッサアイドル電力パッケージ C ステート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > 最小プロセッサアイドル電力パッケージ C ステート	電力プロファイルをカスタムに設定している場合、最小のプロセッサアイドル電力ステート (C ステート) を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パッケージ C6 (リテンション) ステート</li> <li>パッケージ C6 (リテンションなし) ステート</li> <li>パッケージステートなし</li> <li>C ステートなし</li> </ul>
ネットワークブートオプション (特定の NIC 用)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > ネットワークブートオプション	取り付けられた NIC のネットワークブートを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークブート</li> <li>無効</li> </ul>
ネットワークブートリトライサポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > ネットワークブートオプション > ネットワークブートリトライサポート	ネットワークブートリトライ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
シェルの自動開始スクリプトのネットワーク上の位置	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵 UEFI シェル > シェルの自動起動スクリプトのネットワーク上の位置	UEFI シェル起動スクリプトのネットワークの URL の場所を設定します。	N/A
NMI デバッグボタン	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンストオプション > アドバンストシステム ROM オプション > NMI デバッグボタン	システムでソフトウェアのロックアップが発生したときのデバッグ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
No-Execute メモリ保護	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバーセキュリティ > No-Execute メモリ保護	悪意のあるコードやウイルスに対する保護を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
NUMA グループサイズ最適化	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > アドバンストパフォーマンスチューニングオプション > NUMA グループサイズ最適化	システム ROM が NUMA (Non-uniform Memory Access) ノード内の論理プロセッサ数をレポートする方法を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスター構成</li> <li>フラット</li> </ul>
ワンタイムブートメニュー	システムユーティリティのメイン画面	ワンタイムブートのオーバーライドに対する UEFI ブートオプションを選択します。	構成に応じて異なる
ワンタイムブートメニュー (F11 プロンプト)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > ワンタイムブートメニュー (F11 プロンプト)	現在のブート時に、F11 キーを押してワンタイムブートメニューに直接ブートできるかどうかを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
PCI バスパディングオプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンストオプション > アドバンストシステム ROM オプション > PCI バスパディングオプション	デフォルトの PCI バスパディングを有効または無効にします。これは、各拡張スロットに追加の PCI バス番号を付与する機能です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
PCI デバイスの有効/無効	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > PCI デバイスの有効/無効	内蔵 PCI デバイスとアドイン PCI デバイスを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
PCIe スロットネットワークブート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > ネットワークブートオプション > PCIe スロットネットワークブート	PCIe スロット内の NIC カードの UEFI PXE ブートを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
PCIe ストレージブートポリシー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ストレージオプション > PCIe ストレージブートポリシー	PCIe スロット内のストレージコントローラーの UEFI BIOS ブートターゲットを選択します。	構成に応じて異なる
POST F1 プロンプト	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバー可用性 > POST F1 プロンプト	サーバーの POST 画面での F1 キーの表示方法を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>20 秒の遅延</li> <li>2 秒の遅延</li> <li>無効</li> </ul>
電源ボタンモード	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバー可用性 > 電源ボタンモード	電源ボタンを一瞬押す機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
電源投入遅延	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバー可用性 > 電源投入遅延	指定した時間にサーバーの電源をオンにすることを遅らせるかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅延なし</li> <li>ランダムに遅延</li> <li>15 秒遅延</li> <li>30 秒遅延</li> <li>45 秒遅延</li> <li>60 秒遅延</li> </ul>
電源プロファイル	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > 電源プロファイル	電力とパフォーマンスの特性に基づいて電力プロファイルを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力およびパフォーマンスの最適化</li> <li>最小消費電力</li> <li>最大パフォーマンス</li> <li>カスタム</li> </ul>
パワーレギュレーター	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > パワーレギュレーター	電力プロファイルをカスタムに設定している場合、パワーレギュレーターモードを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイナミックパワーセービングモード</li> <li>スタティックローパワーモード</li> <li>スタティックハイパフォーマンスモード</li> <li>OS コントロールモード</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
プリブートネットワーク設定	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > プリブートネットワーク設定	起動前のネットワークインターフェイスおよび関連設定を構成します。	起動前のネットワークインターフェイス <ul style="list-style-type: none"> <li>自動</li> <li>内蔵 NIC</li> </ul> DHCPv4 <ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul> URL からのブート
プロセッサ AES-NI 有効	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバセキュリティ > プロセッサ AES-NI 有効	プロセッサ内の Advanced Encryption Standard Instruction Set を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
プロセッサコア無効	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > プロセッサオプション > プロセッサコア無効	各プロセッサソケットで有効にするコアの数を指定します。	N/A
プロセッサ x2APIC サポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > プロセッサオプション > プロセッサ x2APIC サポート	x2APIC サポートを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
製品 ID	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンストオプション > アドバンストシステム ROM オプション > 製品 ID	システムボードを交換した後の製品 ID 番号を指定します。	N/A
QPI バンド幅の最適化 (RTID)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > アドバンストパフォーマンスチューニングオプション > QPI バンド幅の最適化 (RTID)	最適なパフォーマンスを得るために 2 つのプロセッサ間の QPI リンクを構成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンスの最適化</li> <li>I/O の最適化 (代替 RTID)</li> </ul>
システムを再起動する	システムユーティリティのメイン画面	システムを再起動します。	N/A
冗長電源装置モード	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力管理 > アドバンスト電力オプション > 冗長電源装置モード	電力プロファイルをカスタムに設定している場合、システムが冗長電源装置の構成をどのように取り扱うかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>バランスモード</li> <li>高効率モード (自動)</li> <li>高効率モード (奇数サプライがスタンバイ)</li> <li>高効率モード (偶数サプライがスタンバイ)</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
すべてのキーをプラットフォームのデフォルトにリセット	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > アドバンスドセキュアブートオプション > すべてのキーをプラットフォームのデフォルトにリセット	すべてのキーをプラットフォームのデフォルトにリセットします。	N/A
工場デフォルト設定の復元	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムデフォルトオプション > 工場デフォルト設定の復元	すべての BIOS 構成設定を工場デフォルト値にリセットして、不揮発性のすべての UEFI 変数を削除します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいえ、復元の操作を中止します。</li> <li>はい、デフォルト設定を復元します。</li> </ul>
システムデフォルト設定の復元	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムデフォルトオプション > システムデフォルト設定の復元	すべての BIOS 構成設定をデフォルト値にリセットし、直ちに、かつ自動的にサーバーを再起動します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいえ、復元の操作を中止します。</li> <li>はい、デフォルト設定を復元します。</li> </ul>
SATA セキュア消去	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > SATA コントローラーオプション > SATA セキュア消去	SATA セキュア消去機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
セキュアブート強制	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > セキュアブート強制	セキュアブートを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
シリアル番号	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > アドバンスドシステム ROM オプション > シリアル番号	システムボードのシリアル番号を表示します。	N/A
サービスコンタクト情報	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバー資産情報 > 管理者情報	サーバー管理者のサービス連絡先情報を指定します。	N/A
管理者パスワードの設定	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > 管理者パスワードの設定	管理者パスワードを設定します。	N/A
電源投入時パスワードの設定	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > 電源投入時パスワードの設定	ブートプロセス中にサーバーにアクセスするためのパスワードを設定します。	N/A
サーバー情報	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバー資産情報 > サーバー情報	サーバー管理者に関する参照情報を指定します。	N/A

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
言語の選択	システムユーティリティのメイン画面	システムで使用される言語を選択します。	N/A
シェル自動起動スクリプトロケーション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵 UEFI シェル > シェル自動起動スクリプトロケーション	内蔵 UEFI シェル起動スクリプトの場所を指定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動</li> <li>• 接続メディアのファイルシステム</li> <li>• ネットワークの場所</li> </ul>
システム情報	システムユーティリティのメイン画面	システム情報を表示します。	N/A
TPM 2.0 操作	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Module オプション > TPM 2.0 操作	Trusted Platform Module (TPM) を搭載したサーバーで、TPM 2.0 の操作状態を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 操作なし</li> <li>• 有効</li> <li>• 無効</li> </ul>
TPM 2.0 ビジビリティ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Module オプション > TPM 2.0 ビジビリティ	TPM を搭載したサーバーで、TPM がオペレーティングシステムから隠されているかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 表示</li> <li>• 非表示</li> </ul>
TPM 接続	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Module オプション > TPM 接続	TPM を搭載したサーバーで、TPM バインドキー（一意の RSA キー）を使用してデータを暗号化するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 有効</li> <li>• 無効</li> </ul>
TPM UEFI オプション ROM 測定	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Module > TPM UEFI オプション ROM 測定	TPM を搭載したサーバーで、UEFI PCI 操作 ROM の測定を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 有効</li> <li>• 無効</li> </ul>
UEFI ブート順序	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > UEFI ブート順序	UEFI ブート順序リスト内のエントリーのブート順序を変更します。	構成に応じて異なる
UEFI 最適化ブート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > UEFI 最適化ブート	システム BIOS をネイティブの UEFI グラフィックドライバを使用して起動するかどうかを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 有効</li> <li>• 無効</li> </ul>

表は続く



オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
UEFI PXE ブートポリシー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > ネットワークブートオプション > UEFI PXE ブートポリシー	UEFI ブート順序リスト内のネットワークブートターゲットの順序を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>IPv4 次に IPv6</li> <li>IPv4</li> <li>IPv6</li> <li>IPv6 次に IPv4</li> <li>自動</li> </ul>
UEFI シェル自動起動スクリプト	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵 UEFI シェル > UEFI シェル自動起動スクリプト	シェル起動中の内蔵 UEFI シェル起動スクリプトの自動実行を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
USB ブートサポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > USB オプション > USB ブートサポート	サーバーが接続されている USB デバイスから起動できるかどうかを構成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
USB 制御	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > USB オプション > USB 制御	起動時の USB ポートと内蔵デバイスの動作を構成できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>USB 有効</li> <li>外部 USB ポート無効</li> </ul>
ユーザーデフォルトオプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムデフォルトオプション > ユーザーデフォルトオプション	構成をカスタムデフォルト構成として保存または消去します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーデフォルトの保存</li> <li>ユーザーデフォルトの消去</li> </ul>
ビデオオプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンストオプション > ビデオオプション	ビデオの表示を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドインビデオ有効、内蔵ビデオ無効</li> <li>アドインビデオと内蔵ビデオの両方が有効</li> </ul>
システムヘルスの表示	システムヘルス > システムヘルスの表示	システム内のすべてのデバイスのヘルステータスを表示します。	N/A
仮想インストールディスク	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > USB オプション > 仮想インストールディスク	仮想インストールディスクを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>
仮想化テクノロジー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > 仮想化オプション > 仮想化テクノロジー	Virtual Machine Manager (VMM) でインテル仮想化テクノロジーを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
仮想シリアルポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > シリアルポートオプション > 仮想シリアルポート	仮想シリアルポートで使用する論理 COM ポートと関連デフォルトリソースを割り当てます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>COM 1: IRQ4: I/O: 3F8h-3FFh</li> <li>COM 2: IRQ3: I/O: 2F8h-2FFh</li> <li>無効</li> </ul>
VLAN の構成	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > VLAN の構成	有効なすべてのネットワークインターフェイスにグローバルな VLAN 構成を設定します。	VLAN 制御 <ul style="list-style-type: none"> <li>有効 (VLAN ID および優先順位の設定)</li> <li>無効</li> </ul>
ウェイクオン LAN	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバー可用性 > ウェイクオン LAN	WOL 対応 NIC を使用してリモートでシステムに電源を投入できるかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>無効</li> </ul>

# Web サイト

## 全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library	<a href="http://www.hpe.com/info/EIL">http://www.hpe.com/info/EIL</a>
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス	<a href="http://www.hpe.com/storage/spock">http://www.hpe.com/storage/spock</a>
ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート	<a href="http://www.hpe.com/storage/whitepapers">http://www.hpe.com/storage/whitepapers</a>

その他の Web サイトについては、次を参照してください。[サポートと他のリソース](#)

## その他の UEFI 関連 Web サイト

Web サイト	リンク
UEFI の仕様	<a href="http://www.uefi.org/specifications">http://www.uefi.org/specifications</a>
UEFI の学習資料	<a href="http://www.uefi.org/learning_center">http://www.uefi.org/learning_center</a>
SourceForge の UEFI EDK2 プロジェクト（仕様およびコードのダウンロード）	<a href="http://sourceforge.net/apps/mediawiki/tianocore">http://sourceforge.net/apps/mediawiki/tianocore</a>
Hewlett Packard Enterprise Worldwide の連絡先	<a href="http://www.hpe.com/assistance">http://www.hpe.com/assistance</a>
サブスクリプションサービス/サポートのアラート	<a href="http://www.hpe.com/support/e-updates-ja">http://www.hpe.com/support/e-updates-ja</a>
Software Depot	<a href="http://www.hpe.com/support/softwaredepot">http://www.hpe.com/support/softwaredepot</a>
カスタマーセルフリペア	<a href="http://www.hpe.com/support/selfrepair">http://www.hpe.com/support/selfrepair</a>
Insight Remote Support	<a href="http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs">http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs</a>

## 関連情報

UEFI システムユーティリティおよび内蔵シェルの最新ドキュメントは <http://www.hpe.com/info/ProLiantUEFI/docs> から入手できます。次のドキュメントが提供されています。

- HPE Edgeline Systems の HPE ProLiant m510 および m710x サーバーカートリッジ用 UEFI システムユーティリティおよびシェルリリースノート
- HPE Edgeline Systems の HPE ProLiant m510 および m710x サーバーカートリッジ用 UEFI システムユーティリティユーザーガイド
- HPE Edgeline Systems の HPE ProLiant m510 および m710x サーバーカートリッジ用 UEFI シェルユーザーガイド
- HPE Edgeline Systems の HPE ProLiant m510 および m710x サーバーカートリッジ用 UEFI シェルクイックリファレンスカード
- HPE Edgeline Systems の HPE ProLiant m510 および m710x サーバーカートリッジ用 UEFI 展開ガイド
- HPE Edgeline Systems の HPE ProLiant m510 および m730 サーバーカートリッジ用 UEFI 設定クイックリファレンスガイド
- **重要 UEFI 要件**

# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトを訪問してください。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトに移動します。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- テクニカルサポート登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。製品のドキュメントを確認し、推奨されるソフトウェアアップデートの方法を特定します。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

**Hewlett Packard Enterprise サポートセンター**

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

**Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード**

<http://www.hpe.com/support/downloads>

**Software Depot**

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

### ❗ 重要:

一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の権利付与情報が必要になる場合があります。関連する権利付与情報を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

## リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

### リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス	<a href="http://www.hpe.com/jp/hpalert">http://www.hpe.com/jp/hpalert</a>
HPE プロアクティブケアサービス	<a href="http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja">http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja</a>
HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト	<a href="http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts">http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts</a> (英語)
HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス：サポートされている製品のリスト	<a href="http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts">http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts</a>

### プロアクティブケアカスタマー情報

プロアクティブケアセントラル	<a href="http://www.hpe.com/services/proactivecarecentral">http://www.hpe.com/services/proactivecarecentral</a>
プロアクティブケアサービスのアクティブ化	<a href="http://www.hpe.com/services/proactivecarecentralgetstarted">http://www.hpe.com/services/proactivecarecentralgetstarted</a>

## 保証情報

ご使用の製品の保証を確認するには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターで入手できるサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照します。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

### 追加保証情報

HPE ProLiant と x86 サーバーおよびオプション	<a href="http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties">http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties</a>
HPE Enterprise サーバー	<a href="http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties">http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties</a>
HPE ストレージ製品	<a href="http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties">http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties</a>
HPE ネットワーク製品	<a href="http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties">http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties</a>

## 規定に関する情報

ご使用の製品の規定に関する情報を表示するには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターで入手できるサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照します。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

## 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。本製品の化学物質情報レポートについては、次をご覧ください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

Hewlett Packard Enterprise 製品の環境および安全に関する情報やコンプライアンスに関するデータ（RoHS、REACH など）は、次をご覧ください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>（英語）

Hewlett Packard Enterprise の社内プログラム、製品リサイクル、エネルギーの有効利用などの環境情報については、次をご覧ください。

<http://www.hpe.com/info/environment>（英語）

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当（[docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)）へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、製品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。